



金城学院大学とセントレアが包括協定締結

Ⅰ 活性化向けイベント実施や企画提案

2016年5月6日、金城学院大学と中部国際空港株式会社が「産学連携に関する包括協定」を締結しました。

これはセントレアの活性化や地域社会の発展を大学が協力して行うもので、まずは広告とマーケティングを専攻する国際情報学部国際情報学科庫元ゼミが、実践的教育の場として活動を実施。その後は他学部も参加し語学力を活かした通訳ボランティアや、観光振興をテーマにした提案などを予定しています。

庫元ゼミ生は、「金城セントレアサポーターズ」を結成し、若い世代に向けたマーケティングやイベントの実施、女性の感性を活かしたオリジナル商品などを企画していきます。現在取り掛かっているのは、「スカイデッキをもつ



と活用する企画」「セントレアオリジナル商品企画」。学生たちは情報収集や現地調査を実施した上でアイデアを出し合い、企画のプレゼンテーションを行いました。

プレゼンではセントレアの担当者から「提案に対する客観的裏付けの重要性」や「利用者目線で細部まで考えること」などのアドバイスもいただき、学生も企業の方から学ぶことが多かった

ようです。一部提案は学生らしい発想に高い評価をいただき、セントレアの担当者と連携しながら、これからの実現に向けて現在進行中です。庫元先生は「こうした機会をいただくことで学生が大きく成長できるチャンスになっています。」とプロジェクトの意義を話していました。今後のさらなる発展に向けて、セントレアと協働していく予定です。



金城学院大学と尾張旭市が包括的に連携協力

Ⅰ 市民の健康や地域社会に貢献する取り組みを実施



奥村学長

水野市長

金城学院大学と尾張旭市は包括連携協力に関する協定を締結しました。

現在、尾張旭市が取り組んでいる地域ブランド推進事業の一環で、丸山ゼミと社食提供会社がタッグを組み、「ランチで健康プロジェクト」を実施。社食献立の一部改善に取り組んでいます。

また特別支援教育支援事業として市内小学校に在籍する発達障害や

その傾向にある子どもに対し、臨床心理学を学ぶ大学院生が個別支援を行い、特別支援教育の充実を図っています。

今後は、子ども、子育て支援に関する分野でも新たな連携事業を検討しているほか、健康・地域のまちづくりの推進や教育・文化の振興、生涯学習の推進に関することなどさまざまな面で連携、協力をしていく予定です。

Ⅰ 幼稚園はイエス・キリストとの出会いの場

入園し、上靴に履き替える習慣やリュックを自分のロッカーに入れることなど、園生活のルールを学びながら、さまざまなはじめてのことに会っていく子どもたち。祈りを捧げることもその一つです。

幼稚園では食前と降園前に必ず祈りのときを持ちます。4月、まだ慣れていない年少児と共に祈りを捧げる際は、分かりやすいことはもちろん集中力も考慮し短めの言葉を選びます。4月当初、目を閉じ祈りはじめた途端、こごつとばかりに動き出す気配が…ゴソゴソと動く音がして、祈りの最後に「アーメン」といい、目を開けるとその場所に〇〇君と〇〇ちゃんが居ません！足音がした方を見ると手にはブロックや人形を持って遊びながら、こちらを見ます。一緒にいた年中児・年長児は「もう座ってなきゃダメだよ」「最後に一緒にアーメンというんだよ」と教えながら、根気よくかかわってくれました。数日後には離れた場所から「アーメン」と聞こえてくるようになりました。そのと

き、興味のあるものを手にしながらも、確実に子どもたちの耳に祈りの言葉が届いていると実感できました。

年中、年長児は生活の中に祈りが有ります。時折、保護者の方から家庭の中で祈っている姿や言葉に感動したとの話を聞きますし、幼稚園でも「先生の代わりにお祈りしたい」と申し出てくれることもあります。どんな祈りを捧げてくれるのか楽しみに「お願いしようかな」と祈りのときを託します。「神さま、明日は年少さんが幼稚園にはじめて来ます。泣かないで来られますように。私たちは会えるのを楽しみにしています。そのときまでみんなを守っててください。このお祈りをイエスさまによってお願いします、アーメン」。これは昨年4月、年少児の入園式前日に年長児が捧げた祈りです。

また幼稚園での礼拝を通し、子どもたちは聖書の話聞きます。こうしたキリスト教に親しむ生活を卒園後も送ってほしいとの願いから、年長児を対象に「私たちと一緒に教会へ行きませんか」と教会出席を呼びかけています。

夏休み、冬休みには、聖話講師の鎌田在弥先生が牧師をされている日本キリスト教団愛知守山教会の教会学校に出席させていただきました。

年長児のころからこの教会に通いはじめ、今もお通っている卒園生に会うことができました。彼は小学校高学年のとき、習い事などで教会から遠ざかりました。しかし中学生になり時間にも余裕ができて久しぶりに教会に出席したところ、とても温かく迎えてくれたそうです。

クリスチャンホームでない子どもたちは幼稚園でイエス様と出会い、その存在を知ります。卒園した子どもたちは、聖書の話の聞いたり祈ったりすることが非日常になってしまうことが現実です。しかし幼児期に素直な心でイエス様と出会い、築いたその関係は見えない部分に根付き続け、どんなときも支えてくれると信じています。これからも幼稚園が子どもたちや保護者の方にとってイエス・キリストとの出会いの場であり続けられるようにと願っています。





高校演劇部が中部日本大会へ 渾身の演技と演出で奨励賞受賞



！ 毎日の練習や合宿を通して部員の心もより団結

昨年7月に行われた地区大会や8月の県大会を突破し、12月に行われた「第68回中部日本高等学校演劇大会」に見事出場を果たした演劇部。地区大会の前日は校内合宿も行うなどハードな練習を行ってきました。「合宿では意見の食い違いもあったけど、乗り越えることでより団結できました」と部長の中島采音さんは話します。

当日は緊張感の中、みんなで迫真の

舞台を展開。「緊張したけれど楽しかった」「裏方で先輩の舞台を支えられてよかった」などそれぞれに達成感を味わうことができました。当時の顧問、武下豪先生は「仮校舎での練習で舞台も使えない中、生徒たちは本当によく頑張って練習しました。キャスト、裏方が一緒になって舞台を作ることで協調性も育まれたと思います」と話します。今年の活躍も期待します。



生きた科学を経験するワークショップに参加

！ 科学者の指導を受けながら研究を展開

英国のクリフトン科学財団が実施する「日英ヤング・サイエンティスト・ワークショップ」。日本とイギリスの高校生を対象に、科学の研究とその応用にチャレンジする機会を提供するため約10年前から行われています。

この活動をさらに広げるため、クリフトン財団は名古屋大学を拠点に新たなワークショップを立ち上げました。名古屋大学教育学部附属中・高等学校を日本側の主催者として7月31日から8月6日まで、名古屋大学でワーク

ショップを開催します。

ワークショップのテーマは「女子研究者の育成」です。当日はイギリスの高校生とともに小規模の日英混合チームを編成し、6日間をともに研究にはげみます。

2015年度卒業生進路状況

今年度の金城学院大学への進学者数は、内部推薦者190名に一般推薦・受験での進学者19名を加えて計209名(卒業生全体の61%)で、内部推薦では多くの生徒が第一希望の学科に進学することができました。

外部受験コースでは国公立大学合格者が山形大学(医・医)1名・名古屋大学1名・名

古屋工業大学2名・名古屋市立大学1名・岐阜大学2名・神戸大学1名など合計15名となりました。

私立大学へも早稲田大学5名をはじめ慶応大学1名、上智大学3名、東京理科大学4名、青山学院大学8名、明治大学10名、立教大学2名、同志社大学4名、立命館大学5名、南

山大学22名、愛知医科(医)2名、愛知学院大(歯)4名など多くの合格者をだすことができました。

また、「協定校推薦制度」を利用し、関西学院大学へは8名、同志社女子大学へは4名の生徒が進学をしていきました。卒業生の今後のご活躍をお祈りしています。



中学校新校舎の建設開始

このたび中学校では恵愛館、信愛館の建て替えが行われます。メイントリートの正面にはメディアライブラリーを配置。1階はグループ学習ができる場を、2階は静かな学習スペースを設けて生徒たちの知的好奇心や学びを促します。

各教室には電子黒板を導入し、ICT教育を強化。iPadを使った先進的な学習に取り組みます。また理科室のテラスは広く設けて光や風を取り込めるように配慮。さらに緑化を配し、光合成の実験などが行えるようにします。

新しい校舎は2017年夏休み前に竣工予定。今から完成が楽しみです。

メディアライブラリーやICT教育を強化



コンゴ人講師を招き知った 海外の現状とこれからの課題

国際理解を深め、自分たちに今何ができるかを考える

メディアライブラリーを使い、選択科目「社会問題」の授業が行われました。

この日は講師としてコンゴ民主共和国のジェローム・カセバ氏をお迎えしてコンゴが抱える飢餓、経済発展などの問題について考えました。同氏は日本国際飢餓対策機構の現地パートナー団体として自国の避難民

に対し、自立のための農業支援を行っています。しかし、紛争により治安は悪化。依然として改善が見られません。

生徒たちはそれらの生きた体験や現地の暮らしを目の当たりにし、国際理解を深めるとともに、難民問題を考える貴重な機会となりました。

国公立大	14	専修・各種学校	3
私立大	89	就職	0
金城学院大学	209	進学準備	28
国立短期大学	0	その他(海外留学など)	1
私立短期大学	0	卒業生総数	344

(進学者実数)